



杉岡村長から感謝状を受け取る山口理事長(左から2人目)とじゃがいものお骨を抱く上村訓練士(右端)。

## 飯館生まれの災害救助犬 じゃがいもに感謝状



NPO法人日本動物介護センター(岐阜県岐阜市)で2月に亡くなった災害救助犬じゃがいものお骨が、3月14日、同センターの山口常夫理事長、訓練士の上村智恵子さんと共に村へ帰り、いいたて村の道の駅までい館で、飼い主の井上キミエさん・正一さん(関沢)に手渡されました。道の駅は、功績を紹介する新聞記事や感謝のメッセージを掲示。村は、わんダブルまでい大使としても活躍したじゃがいもに、敬意を込めて感謝状を贈りました。兄弟犬のゴンが共に里帰りをしていて、じゃがいものお骨にそっと顔を近づける姿も見られました。



事業者の皆さんと村の職員が、「仙台から80分」のタペストリーを掲げ、おいしい物がいっぱい飯館村をPR。

## 『食べて応援しよう!in仙台』 飯館のおいしい魅力を発信!

3月14日・15日に宮城県仙台市の勾当台公園で、農林水産省東北農政局主催の「食べて応援しよう!in仙台2026」が開催されました。東日本大震災で大きな被害を受けた福島県、宮城県、岩手県の3県から、おいしい名産品が大集合するイベントです。約50のブースが並び、生産者や食品事業者が自慢の逸品を販売し、消費者と交流しました。飯館村のブースでは「ニコニコ菅野農園」「肉のゆーとびあ」「村カフェ753」などが商品を販売。もち米「あぶくまもち」や蕎麦粉を使ったテイクアウト料理も人気を集めました。



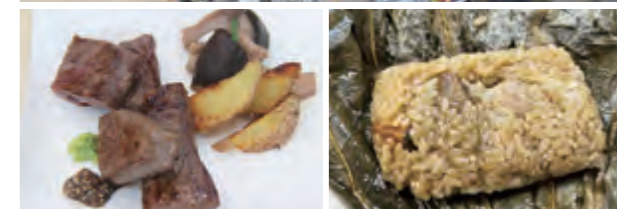
50ポイントを達成した皆さん、おめでとうございます!また、事業へのご参加をありがとうございました。

## 8人が50ポイントを獲得! 元気アップ・ポイント表彰式

3月17日、『いいたて元気アップ・ポイント事業表彰式』を、交流センター「ふれ愛館」で開催しました。「いいたて元気アップ・ポイント」は、生涯学習課が実施している事業への参加や、図書貸し出し利用の際に付与されるポイントで、50ポイントを獲得した方を対象に毎年表彰を行っています。今回50ポイントを達成した方は8人で、表彰式にはそのうち6人が出席しました。「うれしいです」「これからもイベントに参加していきたい」と表彰を受けた皆さん。積極的な生涯学習活動、見習いたいですね。

## 飯館村農業委員会が 農業者との意見交換会を開催

2月27日、飯館村農業委員会が、宿泊体験館きこりて、村内農業者との意見交換会を開催しました。初めに、村の農産品を活用した「旬鮮香房たわわ」(福島市)と「深川中華Shin」(東京都江東区)の料理が提供され、参加者が試食を行いました。続いて、13区営農組合、飯館村振興公社、いいたて結い農園、福相農園などが各経営体の現状を発表。今後に向けた農業者同士の協力について意見を交わし、「状況を共有し、支え合いながら取り組むことが重要」と議論を深めました。



上は会場の様子。下は「旬鮮香房たわわ」のサイコロステーキ(左)と「深川中華Shin」のちまき(右)。

## 日本消防協会定例表彰式で 飯館村消防団が「竿頭綬」受賞

3月6日、日本消防会館「ニッショーホール」(東京都港区)にて『第78回日本消防協会定例表彰式』が開催され、飯館村消防団が優良消防団として竿頭綬を受賞しました。竿頭綬は、優れた活動を行う消防団に授与される名誉ある賞で、団旗の先に付ける綬として贈られるものです。式には、飯館村消防団の川村仁団長(関根・松塚)と菅野哲男副団長(蕨平)が出席し、表彰を受けました。式に併せて「これからの消防防災活動の展開」をテーマとした講演会も行われ、参加者一同が今後の活動に向け知見を深めました。



表彰式の様子。厳かな雰囲気にも包まれた会場で、全国から集まった消防団が表彰を受けました。

## 飯館YOITOKO発見!ツアー 大林素子さんをゲストに開催

3月8日、『第12回飯館YOITOKO発見!ツアー』を開催し、県内外から28人が参加しました。一行は福島駅に集合し、バスで飯館村に向かいました。村では「小宮の田植踊」を鑑賞し、「飯館みらい発電所」や「赤石沢遺跡」を見学。さらには元バレーボール日本代表選手で東京都内と会津若松市で二地域居住をしている大林素子さんのゲストトークが行われるなど、充実の行程を楽しみました。また、昼食には「氣まぐれ茶屋ちえこ」の郷土料理を味わい、さまざまな角度から、飯館村の歴史や魅力に触れました。



小宮民俗芸能保存会と小宮稻荷神社を参拝した参加者の皆さん。昼食を共にするなど交流しました。